

令和7年度 学校評価



山梨市立八幡小学校

八幡小学校 令和7年度 学校評価の総括

【1】学校教育目標

- やさしく、思いやりのある子
- わかるまで考え、努力する子
- たくましく、明るい元気な子
- がんばっている自分に誇りを持てる子

【2】学校経営方針の基本理念

- 児童一人一人を大切に、心豊かな人間性を育てる。
- 児童の学習意欲を高め、学力の向上と創造性を引き出す。
- 生命尊重の精神を基本に、心身ともに健康でたくましい児童の育成に努める。
- 自尊感情を持ち、自ら気づき・考え・行動できる児童の育成に努める。

【3】学校評価の方法

①自己評価（教職員）の実施（7月・10月）

②児童・保護者アンケートの実施（10月）

※保護者が本校の教育活動を理解した上で評価できるように、活動内容の説明を提示する。
理解が不十分な場合について、4段階評価の他に【わからない】という項目を設定する。
アンケートは記名式とし、回答に責任を持っていただく。

③学校運営協議会での学校関係者評価の実施（11月）

評価委員（区長会長・社会教育委員・公民館長・民生児童委員
・学識経験者（元小学校校長）・前PTA会長・PTA会長）

④保護者への公表（12月）

⑤市教育委員会へ学校評価報告書の提出（3月）

【4】評価基準

- ・全体傾向を把握するため、4・3評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状況』と判断し、それ以外を『改善の余地がある状況』と判断した。
(4 そう思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 そう思わない ○ わからない)

【5】評価の結果について（児童・保護者・教職員によるアンケート結果）

①全体評価

- ・今年度は、年度当初より新1年生を含めた特別支援教育の運用を課題とし、「個別最適な学び」「協働的な学び」「インクルーシブ教育」等を中心に教育活動を進め、成果を得ることができた。今後子供たち一人ひとりが特性や個性を生かし伸ばせる豊かな学びの保障・推進に努めていきたい。

- ・評価の結果からの総合的な評価としては、児童・保護者・教職員ともに概ね良好な水準となった。
- ・児童アンケートでは、全21項目のうち16項目が『満足できる状況（肯定80%以上）』となり、そのうち14項目が肯定90%以上の高い評価となり、子供たちは日々の学校生活に概ね満足していることがうかがえる。「読書活動（65%）」についてはやや低い評価となった。
- ・保護者アンケートでは、全21項目のうち17項目が『満足できる状況（肯定80%以上）』、そのうち12項目が肯定90%以上の高い評価となり、保護者は本校の教育活動や児童への対応等について概ね満足していることがうかがえる。しかしながら「家庭学習（69%）」、「英語への興味関心（65%）」、「スマホ・ゲーム等の使用のルール（63%）」についてはやや低評価、「読書活動（47%）」についてはとくに低い評価となった。
- ・教職員のアンケート結果では、全項目で肯定的な回答となり、数値的にも高い評価となっている。評価の伸び率も含め、全体としての改善がみられ、概ね満足できる状態であると判断できる。

②領域ごとの評価

◎学校組織運営

- ・「グランドデザインに基づく教育活動の推進」については7月の調査以上の達成率となった。今後も教職員一人ひとりが学校経営方針の理解と遂行へ意欲をもち、学校教育目標の実現に向けて、チーム八幡小として組織的・具体的に推進していきたい。
- ・「安心・安全な学校環境づくり」「情報セキュリティ等」については、2学期以降も概ね満足できる状態を維持している。重要な項目であるため、引き続きしっかり遂行していきたい。
- ・「いじめ対策」については、保護者・児童の評価を合わせても満足できる状態がうかがえる。未然防止と早期発見、相互理解による解決を目指した取組を今後も気を抜かず継続したい。
- ・働き方改革における業務改善、超勤時間削減等については、全職員が意識し改善傾向にある。今後も業務効率と効果等のバランスを考えながら取り組んでいきたい。

◎確かな学力の育成について

- ・「家庭学習」については、保護者は肯定69%とやや低い評価となった。一方、児童は肯定81%と高い評価となっており、保護者と児童の認識に差が生じている。学校では、家庭学習のめやす時間として「学年×10分+10分」を提唱しているほか「家庭学習スタンバイ」の時間等を活用し、児童が家庭学習に取り組みやすくなるようサポートをしている。家庭学習の内容や出題の工夫、提出や取組のチェック、家庭との連携等を考慮しながら、引き続き児童にとって取り組みやすく有効な家庭学習を推進していきたい。
- ・「読書活動」については、保護者は肯定47%と低評価となり、児童も肯定65%とやや低い評価となった。学校では今年度も「読み聞かせ（地域ボランティア・教員・委員会

活動)」や「図書週間」「図書紹介」「うちどく」など、読書活動に関する様々な取組を行っているが、児童の積極的な読書や家庭での読書習慣までには、あまりつながっていないことがうかがえる。アウトメディアの取組と合わせて読書を推奨するなど、引き続き様々なアプローチで児童に働きかけていきたい。

- ・「英語への興味関心」については、保護者は肯定 65%とやや低い評価となった。一方、児童は肯定 88%と高い評価となっており、保護者と児童の認識に差が生じている。英語専科とNLT（外国人英語専科教員）の先生と連携していくことや学校の授業だけでなく、日常生活の中でも活用を広げていけるよう児童やご家庭にも働きかけていきたい。
- ・「分かりやすい授業の充実」については、先生方が平日頃より児童の実態に合わせ工夫を重ねており、2学期に入って児童理解も進み、さらに改善されてきていることがうかがえる。
- ・「自ら思考し、表現する場面を取り入れた学習指導」については、先生方が十分意識し、工夫して取り入れている。取り入れ方や手段についての情報交換等、連携して進めていきたい。
- ・「個に配慮した指導」についても先生方が日々、十分配慮して指導に当たっている。多様な状況があり難しさもあるが、引き続きできる限りの対応を連携・協力して進めていきたい。
- ・「英語授業の充実」については、概ね満足できる状態ではあるものの、他項目と比較し低い評価となっている。英語専科やNLTとの連携を密にしながら、さらなる充実を図っていきたい。

◎豊かな心の育成について

- ・「いじめへの対応」については、保護者は肯定 84%、児童は肯定 96%と双方とも高い評価となった。学校ではいじめに関する対応を最重要対策のひとつと捉え、平日頃より全教職員の協力体制のもと、未然防止・早期発見・早期解決に向けて丁寧な取組を進めている。保護者・児童ともに高い評価となったことは、その成果のひとつとあると考えられる。しかしその一方で、否定的評価をしている児童・保護者もみられることから、引き続き丁寧な取組を継続し、とくに未然防止を重要視しながら推進していきたい。
- ・「学校は楽しいか」については、保護者は肯定 96%、児童は肯定 92%と双方とも高い評価であった。多くの児童が充実感を味わい、友達や教職員と楽しく生活でき、保護者もそれを実感できている様子がうかがえる。しかしその一方で、否定的評価をしている児童・保護者もみられることから、今後も引き続き、児童一人ひとりを丁寧に見取ることや個に応じた指導・支援を心がけていきたい。

- ・豊かな心の育成において、児童理解と個に応じた支援・指導は欠かせないものである。今後も全職員で情報を共有し共通理解を図り、チーム八幡小で児童の支援・指導に当たっていききたい。
- ・学級指導においては、学級力向上プログラムやQ-U等を引き続き効果的に活用し、学級が児童にとって居心地のよい場所でありつづけるよう、今後もよりよい学級づくりに努めていききたい。

◎健やかな体の育成

- ・「基本的な生活習慣」については、保護者は肯定 91%、児童は 2 項目で肯定 88%・肯定 98%と双方とも高い評価となった。この結果はご家庭での日々の生活におけるご指導・サポートや学校での養護教諭を中心とした児童の生活習慣にかかわる様々な取組の成果のひとつであると考えられる。今後も引き続き、家庭と学校とで連携・協力のもと、児童が生活習慣改善への意識を高め自分事としていけるよう取組を進めていききたい。
- ・「基本的な生活習慣」の習得については、家庭環境等も関係し一朝一夕にはいかないことも多いが、今後も引き続き、繰り返しの指導や支援等の工夫、保護者との連携などにより身に付けることができるようにしていきたい。
- ・「スマホ・ゲーム等の使用のルール」については、保護者は肯定 63%とややと低い評価であるのに対し、児童は肯定 83%と高評価で、保護者と児童とでやや認識に違いが生じていることがうかがえる。スマホやゲーム等の長時間使用の継続は、生活習慣の乱れや視力の低下、さらに学力の低下や読書離れ等の弊害につながるといわれているため、アウトメディアの取組等と併せて、学校と家庭とで連携・協力しながら改善していききたい。
- ・健やかな体の育成においては、体育の授業や体育的行事、体力づくり一校一実践・児童会活動・休み時間等、あらゆる体育的場面を今後も工夫して活用し、児童の体力の向上や運動の日常化につなげていききたい。
- ・健康増進や感染症予防等における児童の主体的な態度の育成については、保健指導や保健室からの情報提供・取組等をもとに今後も引き続き推進していききたい。
- ・安全教育については「自分で自分の命や身を守る能力」を育むことが大切であるため、自分事として捉えて考え、取り組ませる指導・支援を今後も継続して進めていききたい。
- ・健やかな体の育成においては、体育の授業や体育的行事、体力づくり一校一実践・児童会活動・休み時間等、あらゆる体育的場面を今後も工夫して活用し、児童の体力の向上や運動の日常化につなげていききたい。
- ・健康増進や感染症予防等における児童の主体的な態度の育成については、保健指導や保健室からの情報提供・取組等をもとに今後も引き続き推進していききたい。

- ・安全教育については「自分で自分の命や身を守る能力」を育むことが大切であるため、自分事として捉えて考え、取り組ませる指導・支援を今後も継続して進めていきたい。

◎家庭・地域との連携

- ・「家族や先生への相談（児童回答のみ）」については、肯定79%で約8割の児童は家族や教員に相談できると回答している。否定的な回答であった約2割の児童に対しては、家庭でも学校でも、相談しやすい体制や雰囲気づくりをすること、相談することの大切さの周知、相談する人や手段の幅の拡大（家族や親戚、担任以外の教員など・手紙やメール等の手段など）など、様々なアプローチにより児童に寄り添い、コミュニケーションをとっていきたい。
- ・情報モラル教育やアウトメディアの取組を通して、SNSやメディアの望ましい活用の仕方やトラブル回避を目指した取組を今後も保護者・地域等と連携して進めていきたい。
- ・家庭学習については、家庭学習スタンバイの時間等を有効に活用し、児童が家庭学習を進めやすくなるよう、今後も引き続き指導・支援の工夫を進めていきたい。
- ・地域素材・人材・フィールド等の活用については、今年度も多種多様な活動に取り組み、成果をあげることができている。
- ・「地域と共にある学校教育」という点では、概ね満足できる状態ではあるものの、他項目と比較し低評価となっている。教職員はもとより、保護者や地域住民の理解や協力がますます重要となってくるため、その推進に努めていきたい。

●保護者アンケート記述（抜粋・概略）（10件）

- ・おかげさまで子供が楽しく学校へ通うことができおり、大変ありがたいです。今年、校内で物が無くなるといったことがありましたが、今後も安心して子供たちが過ごせる指導を徹底していただけるとありがたいです。
- ・年に2度ほど授業にかかる校外学習以外の遠足を是非とも実施してほしい。市外に出て学ぶ機会の設定をお願いしたい。
- ・春秋の遠足を是非とも実施してほしい。市外に出る学びの場の提供をお願いします。
- ・宿題が少なく、学校で済ましてきてしまうため、家庭での学習習慣がつきません。習慣が付いていないため、長期休みの宿題が本当に大変です。中学入学に向け、学習面での向上を期待したいです。
- ・子供たちの言葉遣いの悪さが気になっています。仲が良いということでしょうが…。学校の方でも友達同士の言葉遣いに注意していただければと思います。

- ・そのほか肯定的な意見・感想、個別案件など（5件）

【6】八幡小学校運営協議会委員による学校関係者評価（11月28日）

◎概要

学校より、学校評価（職員・児童・保護者）の結果の報告を行った。

職員アンケートでは全項目で肯定的な回答であること、数値的にも1回目の評価（7月）よりも2回目の評価（10月）の方が高い評価となった項目も多く、2学期に入ってさらなる改善がみられることから、概ね満足できる教育活動が展開されていると判断できることを報告した。

児童・保護者アンケートでは、全体として高評価であったこと、低評価であった点（読書活動・スマホやゲームの使用等）についての説明等を行った。

その後、学校としての課題改善・解決に向けて方策や取組等について示した上で、委員の皆さんからのご質問やご意見等をいただいた。

◎委員の方からの質問・意見等

- ・英語の授業では、今は担任が指導にかかわっていないのか。（質問）
→ 今は指導にかかわっていない。専科教員とNLTが担当し、担任は空き時間。（学校からの回答）
- ・読書について、親が子どもの読書にかかわっていない実態があるのでは…。子どもにもっと読む機会を与えることが大切。（意見）
- ・自分の子の様子を見ると家でよく本を読んでいる。読む子と読まない子の差があるのでは…。（保護者の委員の意見）
- ・図書室の本の数も多く揃っているのもっと活用していきたい。（意見）
- ・児童、保護者、教職員の評価が概ね共通し、高評価である。これはなかなか難しいことであり、本校の教育活動の成果と言えるのでは…。（意見）

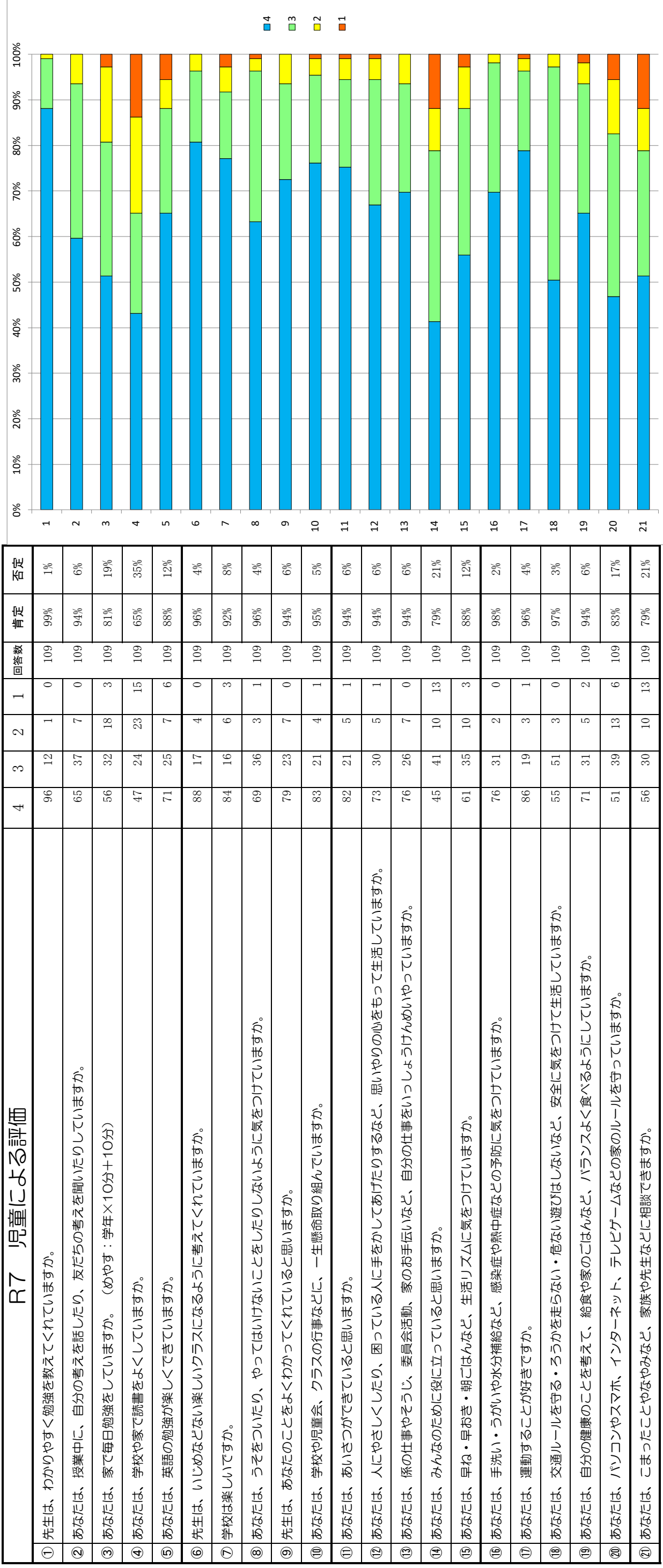
【7】おわりに

学校評価の結果分析では、本校の教育活動が全体的には概ね良好に進められている様子が明らかになった。この結果は決して当たり前のことではなく、日頃より保護者・ご家族、学校運営協議会委員の皆様をはじめとする地域の方々、本校教職員、そして何よりも本校の子供たちが、学校教育目標でもある「やさしさ」や「思いやりの心」をもち、「考え・努力」しながら、ポジティブな取組を重ねている成果だと考える。

しかしながら、課題や改善の余地がないわけではなく、これからも学校課題を見極め、その解決策や改善策を講じていくとともに、子供たちと保護者・ご家族、地域の方々、教職員が同じビジョンの上に立ち、地域・社会の未来を担う子供たちの、豊かな学びの保障・継続・推進に努めていきたい。

令和7年度 児童アンケート

4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない



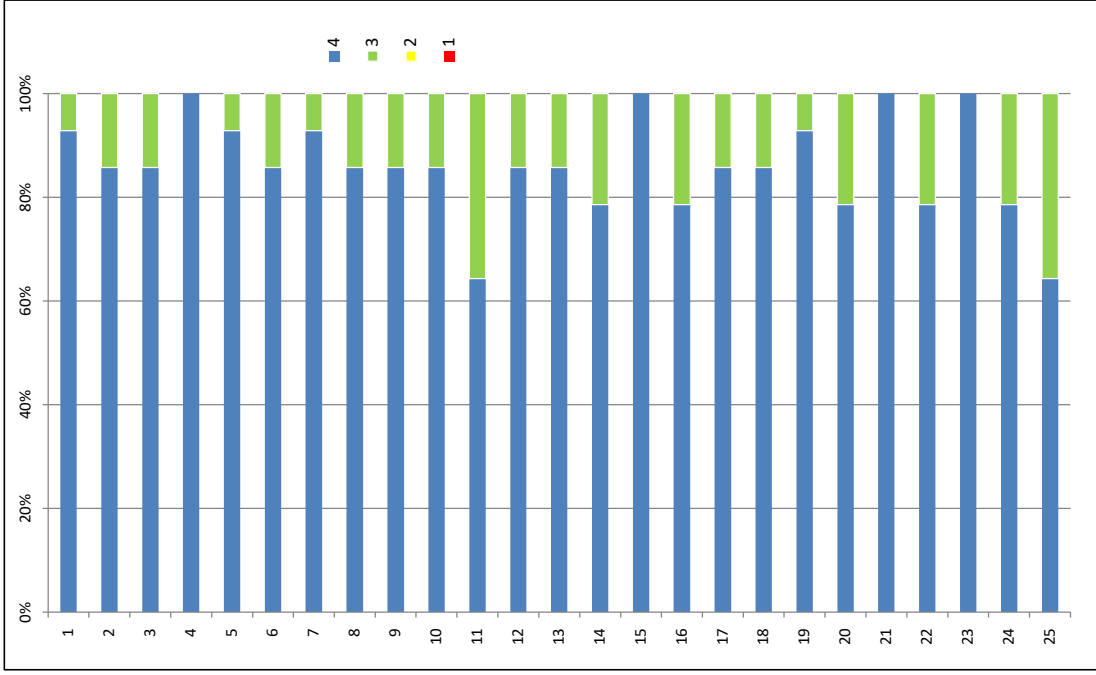
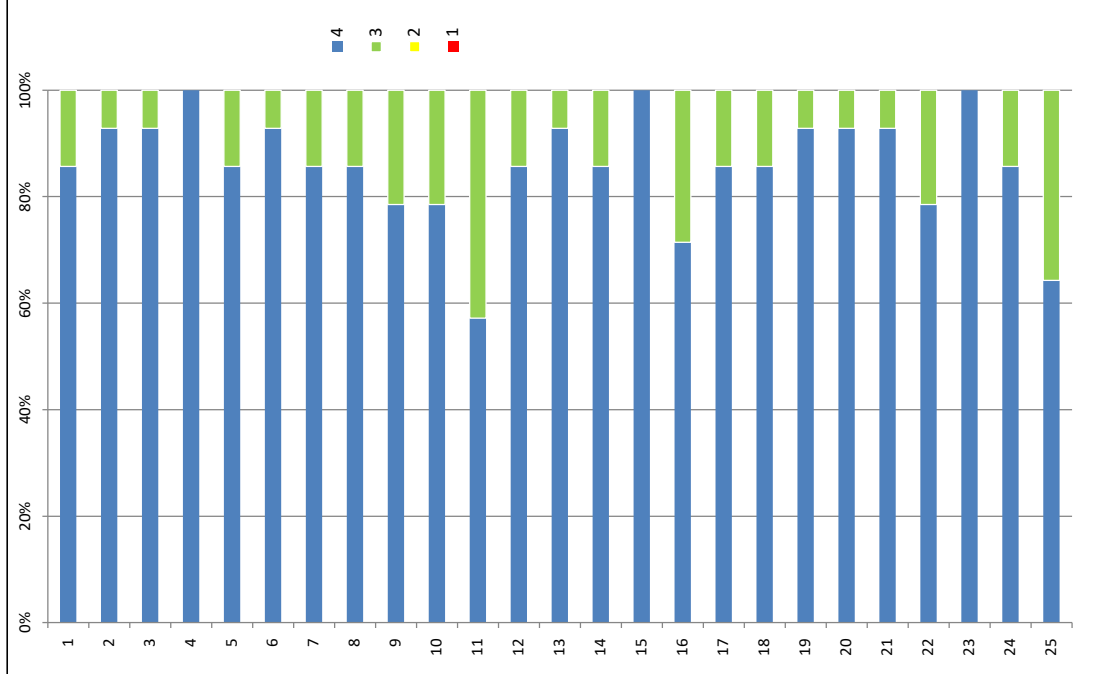
令和7年度 学校評価 10月（職員 2回目） 2025.11.28

4=そう思う 3=ややそう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない

7月

10月

R07 職員による評価（10月）		4	3	2	1
①	あなたは、学校経営方針（ブランドデザイン）に基づき教育活動を推進している。	13	1	0	0
②	本校では、安心・安全な学校環境づくりに向け、課題把握とその改善を進め、危機管理体制の充実を図ることができている。	12	2	0	0
③	あなたは、個人情報保護・情報セキュリティの観点から諸表簿や文書、記録媒体を適切に管理している。	12	2	0	0
④	本校では、全職員が特別支援教育の校内体制の充実に向け取り組むことができている。	14	0	0	0
⑤	あなたは、本校の「いじめ防止基本方針」を理解し、それに基づいた取り組みを行うことができている。	13	1	0	0
⑥	あなたは、効果的・効果的な業務の遂行に励み、自身の働き方を意識したり、業務の改善を図ったりしている。	12	2	0	0
⑦	あなたは（本校では）、学習指導のねらいの明確化など、児童にとって分かりやすい授業の充実に努めている。	13	1	0	0
⑧	あなたは（本校では）、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る授業に取り組んでいる。	12	2	0	0
⑨	あなたは（本校では）自ら思考し、表出する場面を取り入れた学習指導に取り組んでいる。	12	2	0	0
⑩	あなたは（本校では）、児童一人ひとりの学習状況を把握し、個に配慮した指導を行っている。	12	2	0	0
⑪	あなたは（本校では）、英語科教育の目標を達成するために、授業の充実を図っている。	9	5	0	0
⑫	あなたは（本校では）、学習目標を達成するために、端末や電子黒板等、ICTを活用した授業を実施している。	12	2	0	0
⑬	あなたは（本校では）、学力向上やQ-U等の結果を活用し、児童にとって楽しい学校・学校づくりに取り組んでいる。	12	2	0	0
⑭	あなたは（本校では）、道徳科の授業や日常の道徳指導を通して、児童の道徳的心を養っている。	11	3	0	0
⑮	あなたは（本校では）、児童理解に努め、個に応じた指導をしたり、良い点やがんばりを評価したりしている。	14	0	0	0
⑯	あなたは（本校では）、児童が基本的な生活習慣を身につけることができるよう指導を行っている。	11	3	0	0
⑰	あなたは（本校では）、体育の授業や体育的行事、休み時間等に、児童が楽しみながら運動に取り組めるように工夫している。	12	2	0	0
⑱	あなたは（本校では）、児童の主体的な健康増進・感染防止に関する態度の育成に努めている。	12	2	0	0
⑲	あなたは（本校では）、給食指導などを通じ、児童の体の基礎をつくる食育の充実にも努めている。	13	1	0	0
⑳	あなたは（本校では）、交通事故等を未然に防ぐなど、子どもたちが自分自身の身を守る能力を育てることができるよう、安全教育に取り組んでいる。	11	3	0	0
㉑	あなたは（本校では）、家庭に適切な情報発信・情報提供を行っている。	14	0	0	0
㉒	あなたは（本校では）、家庭学習の充実のため、内容の工夫・家庭との連携に取り組んでいる。	11	3	0	0
㉓	あなたは（本校では）、児童や保護者からの相談に丁寧に応じている。	14	0	0	0
㉔	本校は、地域の環境や人材を活用した教育活動を行っている。	11	3	0	0
㉕	あなたは、学校運営協議会の目的や内容を理解し、地域と共有し、学校教育の推進に努めている。	9	5	0	0



職員 記述

・全教職員がそれぞれの分掌や役割に対してしっかりと取り組み、チーム学校（チーム八幡小）として協働・協力しながら学校運営や児童の指導・支援にあたっていると思う。